

2019 63号

明けましておめでとうございます。

皆様には、すこやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また昨年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

さて一段と寒さ厳しくなり、風邪をはじめとする感染症が流行する時期になってまいりました。とある県ではノロウイルスが猛威を振るっているとも聴き及んでおります。昨年末から年始にかけて有明医療圏でもインフルエンザの感染注意報が出ており、1月以降は全国各地でも本格的な流行となる見込みですので当院でも常日頃からの感染に対する予防策をより一層励行し、患者様や職員への集団感染を防いでまいります。

1月3日夕刻頃に熊本地方を震源地としたマグニチュード5.0の地震が発生しました。大牟田近辺でも震度4を観測し不安な夜を過ごされた方も多いのではないのでしょうか。

近年精神医学におきましては災害に伴う被災された方のメンタルヘルスを領域とした災害精神医学という分野が重要視されてきております。これは皆様の記憶にも新しい熊本地震に派遣されたDPAT災害派遣精神医療チームと流れを同じくするものです。日本では大地震などの様々な災害が発生し甚大な被害が出ております。その中では物的損失に目が行きがちですが被災された方の精神も多大な影響を受けており、その心をケアする体制が必要とされているのです。この災害精神医学は特別なチームや医療機関のみが行うのではなく当院をはじめとした地域医療を担うものすべてが提供できるものではなくてはいけません。当院においても万が一の災害に遭遇した際に対応できるよう体制の強化に励んでおります。

本年は改元の年であり、平成最後の年であり新たな元号、時代が始まる素晴らしい年であり、新たな門出を飾るにふさわしい医療機関であるよう全職員邁進してまいります。

最後に、今年一年が幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。



医療法人静光園第二病院 院長 吉田卓生

医療法人静光園 第二病院



《 理 念 》

- 1. 人権を尊重した優しい医療
- 2. 自由で開放的な医療
- 3. 地域に開かれた医療

《 基 本 方 針 》

- 1. 患者様の人としての尊厳と権利を大切にします。
- 2. 十分な説明と同意のもとに患者様およびご家族とともに考える医療を行います。
- 3. 社会復帰の促進に力を注ぎ、患者様の自立を支援します。
- 4. 地域社会との交流を深め、「医療」「保健」「福祉」が一体となった医療の提供に努めます。
- 5. 職員は日々の努力を怠ることなく、調和のとれたチーム医療を実践します。

12月28日、毎年恒例となっている餅つき大会を開催しました。小雪もちらつくほどの寒さでしたので、棟内からガラス越しにも観覧できるようセッティングしましたが、多くの方が外会場での参加を希望される盛り上がり！その勢いのまま、寒さに負けじと皆さん掛け声をよく響かせ、力いっぱいお餅をつくことができました。できあがったお餅は鏡餅にし、皆さんの目に届くよう飾り付け、それを見ては皆さんが新しい年を迎えた感慨をつぶやくよいお正月になりました。



昨年10月、晴天に恵まれた中、当院広場にてふれあい祭を開催いたしました。地域の方々にもブラスバンド等たくさんの催しをいただき、見る間に笑顔が広がっていった様子が心に残っています。様々に用意された作品はどれも素敵に目に映り、また皆さんで参加してのゲームやワークショップ等も大変盛況で、患者様、地域の皆様と一緒に、とても楽しいひと時を彩ることができました。



# 紅茶で

# インフルエンザ対策

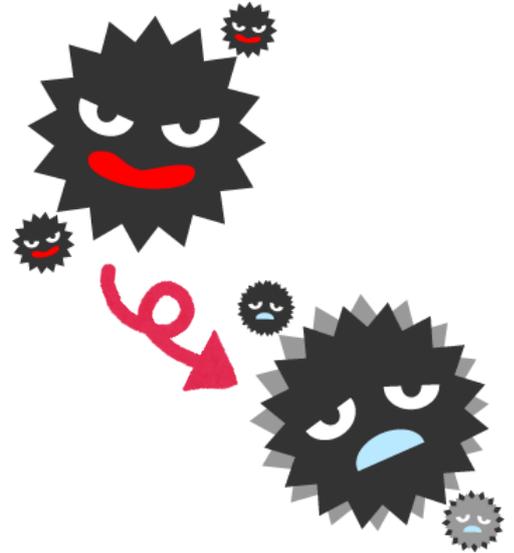


寒い季節になると気を付けたい体調管理。例年インフルエンザなどの感染症にはピリピリとさせられますよね。今回ご紹介するお話はそんな感染症対策に一石を投じる研究結果です。

## 紅茶はインフルエンザウイルスを99.9%無力化っ！

カテキン、てよく聞きますよね。紅茶は茶の葉を発酵させて製造されますが、この過程で茶の葉に含まれるカテキンは「テアフラビン」という成分に変化するのだそうです。このテアフラビンがインフルエンザの感染力を奪うのだとか。

インフルエンザウイルスはスパイクという突起物で鼻や喉などの呼吸器粘膜に付着し、そこから人体に侵入して感染します。そこで紅茶を飲むと「テアフラビン」がスパイクの先端にがちり取りつき、粘膜への付着ができなくなり、インフルエンザウイルスが無効化するのです。その効果は緑茶よりも優れており、紅茶に奪われた感染力は復活することはありません。



### 紅茶の濃度は？

通常飲む紅茶の濃度で十分です。その濃度であっても、インフルエンザウイルスをなんと10秒で無力化します。5分の1の薄さでも十分。さらに、美味しく飲んだ後の2煎目で「紅茶うがい」をすることもおすすめです

### 飲み方は

お砂糖やレモンは効能に影響はありませんが、ミルクはテアフラビンの働きを阻害します。温度は温かくした方がよいそうです。

紅茶は他に咽頭粘膜の抗炎症効果もあり、喉の痛みが和らぐといわれています。また、集中力アップやリラックス効果も期待できます。マスクや手洗いといっしょに紅茶の習慣を試してみましょ。

### 参考サイト

- ・キリン紅茶と暮らし研究所 紅茶でインフルエンザ対策!?
- ・中山幹夫 (NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会) 紅茶のインフルエンザに対する感染伝播阻止効果
- ・三井農林お茶科学研究所 紅茶のインフルエンザウイルス感染阻止力の研究について

(敬称略・五十音順)

診療実績					
		9月	10月	11月	12月
外来	全体延件数	2,078人	2,392人	2,290人	2,178人
	一日平均実人数	90.3人	92.0人	95.4人	87.1人
入院	病床利用率	99.73%	98.95%	99.22%	99.26%
	平均入院者数	183.5人	182.1人	182.6人	182.6人

# 医療法人静光園「第二病院」

院長 吉田 卓生

診療科目 内科・神経科・精神科（メンタルクリニック）  
 診療内容 精神保健相談・老人保健相談・児童思春期相談  
 心の相談・ストレス相談・作業療法  
 デイケア・デイナイトケア・ナイトケア

交通のご案内



〒836-0885 福岡県大牟田市下池町29番地  
 TEL. 0944-52-8881（代）  
 FAX. 0944-52-6660  
 ホームページ <http://daini.or.jp/> ※リニューアル致しました。

大牟田駅より 西鉄バス「有明高専行」15分  
 萩尾1丁目バス停下車 徒歩3分  
 大牟田駅より タクシー10分  
 南関インターより 車で約30分

## 関連施設

社会復帰センター  
 ウォルネットキャビン  
 「くるみ館」



TEL0944-51-5454

自立生活訓練施設  
 （通所・宿泊型）  
 「アプリコットハウス」



TEL0944-52-0022

就労継続B型施設  
 「森の工房どんぐり」



TEL0944-52-7575

- グループホーム  
 「希望が丘荘」  
 「さくらガーデンハイツ」
- 共同住居  
 「萩ハイム」  
 「英知フラット」



小規模多機能ホーム  
 「つぼみ」  
 地域交流ひろば  
 「ささはら」

TEL0944-85-0185

デイサービスセンター  
 「里桜」

TEL0944-85-0261

小規模多機能ホーム  
 「ぶどうの木」  
 地域交流ひろば  
 「いちの」

TEL0944-32-8001

小規模多機能ホーム  
 「たけとんぼ」  
 高齢者グループホーム  
 「やまぼうし」  
 地域交流ひろば  
 「ひばりヶ丘」

TEL0944-53-7778



地域活動支援センター  
 「あじさい」



TEL0944-55-8555

カウンセリングルーム  
 フリースクール  
 「ソフィア」



TEL0944-52-8889



## 編集後記

あけましておめでとうございます。干支亥の年は病気になるににくいそうで、「田の神・作物の神」とも関係しているのだとか。インフルエンザの流行に負けじと、マスク、手洗い、紅茶に加え、バランスよく食べて健康な一年を叶えようと思います。（矢田）